

市町村未来づくり交付金自己評価調書

1 事業群評価調書

団体名：乙訓消防組合

重点目標	<p>高度情報化の進展や社会環境が大きく変化するなか、火災予防施策を積極的に推進し、火災の減少を目指すとともに、住民の命を守る救急救助体制の一層の充実に努め、災害危機管理に対する取り組みの強化を図る。住民の生命、身体及び財産を災害から守る「消防の使命達成」に向けて、各関係機関と連携を強化し「災害に強い 安心・安全な街づくり」を推進する。</p>		
	事業群	構成事業名	
車両整備事業		はしご付消防自動車整備事業	
事業群全体による 成果の概要	<p>18年以上の長期使用により老朽化が著しかった車両から、より機動性と信頼性にとみ、小回りの利く消防車両に更新整備した事により、災害対応力が向上し、各種災害による被害の軽減することが可能となった。</p>		
	<p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

2 個別事業評価調書

団体名: 乙訓消防組合

事業名		はしご付消防自動車整備事業			
事業の概要		長岡京消防署で運用中のはしご付消防自動車を、新規車両に更新整備するもの。			
		事業期間	平成20年7月24日(車両契約日)～平成21年3月24日(車載無線納入及び検収日)		
		総事業費	171,864	本年度事業費	171,864
事業評価	事業の必要性	高層建築物の建設等、乙訓地域における都市機能が刻々と変化し、災害形態も複雑多様化、大規模化の様相を呈している。これらに適切に対応するためにも、消防車両の整備強化を図る必要がある。			
	事業の有効性	各種災害に対する迅速化により被害の軽減が図られ、地域住民の生命、身体、財産の保護に寄与することができる。			
	事業の効率性	18年以上の長期使用により老朽化が著しかった車両から、より機動性と信頼性とみ、小回りの利く消防車両に更新整備した事により、災害対応力の向上に成果が得られるものである。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果 今回の更新整備により、大規模災害時及び特異災害への対応力が強化され、広域的な災害に対処することが可能となった。					
5 行財政改革に資する成果 今回更新予定の車両は、平成2年に長岡京市において整備したもので、長期使用により車体全体の老朽化が著しいものである。したがって、より信頼性、機動性に優れる消防車両を整備することにより、災害対応力の向上を図ることができた。					
6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。